

KOKONOE  
FreePaper

2023.3  
vol.17

# BASARE

九重からこのえへ

---

野上祇園

---

じいじとばあばの知恵袋

---

コトバ  
この景色に物語をのせて

---

チアリング

---



# 歸上祇園

令和4年7月



蝉の声と共に聴こえてくる鉦の音。

誘われるようその場所へ行つてみると、  
祇園に向かってお囃子の練習をする

子どもたちの姿があつた。

心躍る鉦と太鼓のリズムと音色は

夏の楽しみが近いことを

知させてくれた。



## 豊後中村祇園

明治43年頃、無病息災などを祈願し『豊後中村祇園』という名でその歴史はスタートした。

当初、四輪の大八車に飾りを付けて巡行していたが、昭和3年に中津祇園から山車を購入。その後、豊後中村駅を境に、野上商店街の大分方面を上町、日田方面を下町と分け、それぞれの地区に1台ずつの山車が巡行、最後は駅前に集まり山車の上で劇団の芝居が披露された。芝居は『野上祇園』の楽しみの一つとして現在も続いている。

### 薄れゆく賑わい

昭和38年頃、上町の山車が老朽化で廃車。その後、平成元年には2台の使える部分を活かし1台に融合、迫力ある現在の踊り山（山車）の形が完成した。

祇園の運営は、上町下町の町内会が行なっていたが時を経て商工会へとバトンタッチ。花火を打ち上げるなど昭和から平成初期にかけて大変な賑わいを見せるも、その後、商工会では立ち行かなくなり野上全体に参加者を募った。この時から祇園の名称を『野上祇園』に変え、現在の野上祇園保存会ができた。最初の頃は人が集まり盛り上がりを見せていた野上祇園だったが、担い手の高齢化、出店者や観客の減少が進み、かつての賑わいは徐々に薄れていった。少ない時は20人ほどの人数で祇園の2日間を運営。「来年はするか？しないか？」そんな話が出るような状況、様々なことに手が回らなくなり毎年同じことを繰り返すようになつていった。

参加者不足や高齢化で存続が危ぶまれている祭りは全国的にも決して少なくない。野上祇園の活気は、こうして失われていくこととなる。



平成22年、当駅前の商店街で電気屋を営んでいた原田さんが「これで祇園を盛り上げてくれ」と、私財を投じ保存会に100万円を寄付してくれた。この時「このままではいけない、若い人たちの考えを取り入れて祇園を変えていかなければいけない」と感じていた親世代の保存会は「一緒にやって行こうや」と、若い世代の高橋さんたちに声をかけた。そして、会議に参加した高橋さんが、「そのうちの20万円を好きに使わせてください!」と、保存会に伝えるのだった。

### 若い世代へと繋ぐ

これまで尽力してきた親世代は、原田さんの100万円をきっかけに、若い世代の力を借りることを決めた。

同じ頃、若い世代が集結し自分たちで運営していくため『野上祇園実行委員会』を立ち上げ、預かった20万円は人を呼ぶために使おうと決め、ステージイベントを企画した。出演者を呼び、町内外の出店者に声をかけるなど、とにかくやりたいことをやった結果、昔の活気を取り戻し多くの人が集まるようになった。

若い世代は言う「何十年も続けてきたことを変えることに上の人たちが反対せず、好きなようにやらせててくれたのと、あの時の100万円があったから今の祇園はできたと思う」そして、親世代は言う「今の野上祇園を支えてくれているのは若い人たちだから、その人たちの想いを大事にしたい」

世代の垣根を越え、形を変えながら伝統が繋がっていく。こうして、新たな『野上祇園』の時代がスタートした。

令和2年、町内外から多くの人が遊びに来る祭りとなり毎年大変な賑わいを見せていた野上祇園も、新型コロナウイルスの影響による中止を余儀なくされた。

### コロナ禍の自粛



野上祇園保存会の方々



祇園のない夏はやはり寂しく、来年はできるのだろうかと考える日々。

1年目は、中止を決断。2年目は、山車だけ組んで近所の子どもたちにお菓子を配るだけだった。3年目は、近所の人や子どもたちから「今年はするよね?」と聞かれることが増えた。「5月くらいになると子どもたちが野上祇園に行くためにお小遣いを貯め出すっていう話を聞いてね、「やらな!」つちなるよね」そう話してくれた現在、野上祇園実行委員会の梶原会長たちは、保存会の親世代と開催について話し合いを進めた。若い世代は「1日だけでも出来れば」という考え方だったが、保存会の「やるなら今まで通りやつてくれ、責任はどるから!」という言葉に、2日間の通常開催を決断した。

## 子どもたちの笑顔

令和4年7月 夏空に見守られながら3年振りの野上祇園祭がスタートした。  
県外で暮らす若者たちも、山車を曳くため集結した。

まずは抗原検査を受け、神事で安全を祈願する。法被に身を包み、威勢の良い掛け声と共に山車を動かし巡行する。夏の暑さなど気にせず、子どもたちや地域の人たちが山車を追いかける。きっと、多くの人がこの日を待ち望んでいたのだろう、陽が沈む頃には駅前のスペースや歩行者天国は数えきれないほどの人で賑わっていた。

夜になり、ステージイベントや芝居がその空間を盛り上げる。山車の梶棒かじぼうによじ登り、かじり付くようにして芝居を見ている子どもたちは、夏の楽しみを思う存分味わっているかのような無邪気な笑顔をしていた。その姿を見れば、この数日間、祇園の準備に多くの時間を費やした大人たちの疲れは一瞬で消えていく。

「子どもたちの笑顔が見たいから頑張れるんよ」。梶原会長ら若い世代が、口を揃えて言っていた言葉の意味がわかつた瞬間だった。

見に来た人たちも、参加している関係者も、みんなが笑顔で楽しめる祭り。それが『野上祇園』  
今年の夏も、あの賑わいを求めて多くの人が野上祇園に集うだろう。





今年の夏も、あの賑わいを求めて  
多くの人が野上祇園に集<sup>ひ</sup>うだろう。



ウソ？ ホント？

# じいじとばあばの 知恵袋 \*

**ぬらした** 新聞紙を  
ちぎって拭き掃除をする

昔はようしょったけど、  
今すると逆に汚れるし、  
ゴミになるぞ、  
やめちょこ！

今はせんね～！

**風邪**で  
のどが痛い時は、  
お酒をしめらせた布を  
のどに巻く

血行がよくなるって、  
のどの痛みが和らぐらしいぞ。  
子供もお酒が弱い人は  
ダメやきね！

気をつけちょくれ！

**手**にトゲが刺されたら  
5円玉で取る

ホントっしゃ！

**生臭い** 食器やまな板には  
柑橘類の皮で拭く

ほなごつ！

生臭いニオイヤ  
油汚れがとれるけん、  
ぜひやっつみぢくり

**コーヒー**の  
出し殻は消臭に使う

効果はあるけど、  
濡れまま、ほつぼうかしにしたり、  
カビが生えるぞ、気をつけて！

こまめに  
取り替えア

自分でやるよりも、  
人にやってもらつた方が  
どれやすいぞ、  
ぜひ財布にいれちょきよ！



# この景色に 物語をのせて

コトベ

俳句協力者 古後 粒勝  
カメラ撮影 カメラ撮影  
撮影協力者 松木 舞子  
赤峰 りら・梅木 彩・大野 瑞菜・左藤 蓮

このえ緑陽中学校の  
教室内でパシャリ!



さみしさを秘めて笑顔の卒業子



山霧に包まれ  
子らの近未来

東良の農道で↗  
パンヤリ!

旧中学校の制服を着て ↘  
パンヤリ!



←俳句の詳しい説明は、  
こちらからご覧いただけます。



古校舎残る階段 春いくとせ

# ここえチェアリング

チェアリングとは造語で、  
持ち運びのできる椅子を  
お気に入りの場所に置いて  
座りくつろぐこと。  
ここえ「ならでは」の  
チェアリングを覗いてみました。



\*マナーを守って  
チェアリングを  
しましょう。

日が昇る前から日が沈むまで1日働き、忙しい日々をお過ごしの佐藤さん。お仕事の依頼が多方面から舞い込んでくるのでご自身のことを『便利屋さん』と言う。



自分のお尻に合う  
切り株を探すのも  
楽しい♪

## きこりチェアリング

木を倒した後の木に座る  
醍醐味を体験できる。  
働いた後のご褒美時間。

**Point** チェアリングの効果  
休憩することでメリハリが  
生まれ仕事の効率がUP!

南山田 グラウンドゴルフ  
愛好会のみなさま。



## グラウンドゴルフ チェアリング

軽量の持ち運びサイズの  
椅子がみそ。試合中は邪魔  
にならないように端に寄せ  
ること。

**Point** チェアリングの効果  
スコアを振り返りながら休憩  
をすることで、次のゲームへの  
やる気がUP!

スコア表の  
記入にも  
椅子は  
必需品です。



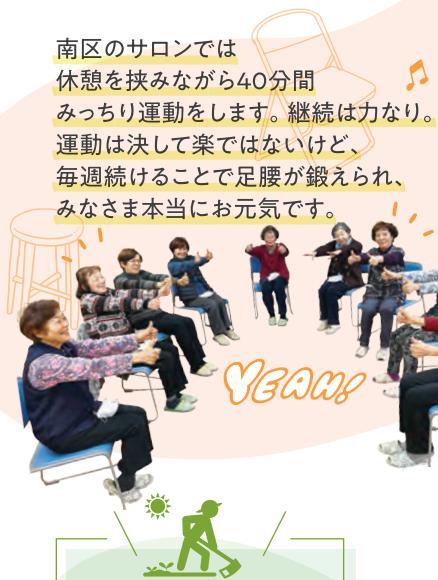
相棒の軽トラで  
どこへでも行き  
お仕事をします。



倒したクヌギの木は  
椎茸を作る原木に。  
植菌して一年寝かせると  
椎茸が生えホダ木になります！



南区のサロンでは  
休憩を挟みながら40分間  
みっちり運動をします。継続は力なり。  
運動は決して楽ではないけど、  
毎週続けることで足腰が鍛えられ、  
みなさま本当に元気です。



## サロンチアリング

円座になり運動した後にお茶を飲んだり語り合うこと。

**Point** チアリングの効果

おしゃべりをすることで脳トレとコミュニケーション力がUP!



## 畠チアリング

農作業の合間にコンテナボックスに座り野菜や果物の成長を見て楽しむこと。

**Point** チアリングの効果

種まきから収穫までのイメージを膨らませ未来予想図を描く力がUP!

連れ添って60年の  
飯田さんご夫妻の農作業は  
息がぴったり!  
お二人とも詩吟の先生をされており、  
生徒さんたちに野菜のお裾分けを  
するのが楽しいとのこと。  
戦後の食糧難を  
生き抜いてこられた為、  
畠には常に収穫できる  
野菜や果物があるそうです。



阿吽の呼吸で  
作業があつという間に  
終わります。



毎日、娘から  
LINEがくるんよ

婿が田んぼを  
手伝ってくれて  
助かっちょる

人参  
いらんへ??!



ゲーム終了後に  
暖をとるみなさま。

はー  
寒かった  
たな~



景品で  
もらった椅子が  
お気に入り!



毎週2回あるグラウンドゴルフは  
ラジオ体操から始まり、  
2ラウンド後にチアリング。  
楽しくおしゃべりしながら3ラウンド目に備えます。  
大会がある時は景品がもらえるので、  
より一層気合が入り盛り上がります!

# BASARE

九重からこのえへ

「九重からこのえへ、しあわせのおすそわけ」をテーマに、

ふだん着姿のたくさんのいいもの・いい人を町の人が発見し、まちの人へ伝えるフリーペーパーです。

\*バサレとは、大分の方言で「たくさん」という意味です。

発行日：2023年3月15日 発行人：九重町公民館BASAREプロジェクト 本書への問い合わせ先：九重文化センター 大分県玖珠郡九重町  
TEL：0973-76-3888 Mail：bunka@town.kokonoe.g.jp Facebookページ：<https://www.facebook.com/basare.kokonoe/>  
バッケンバは九重町HPからご覧いただけます。本書は、無料で配布しております。  
本書の一部または全部を無断で複写、複製することを禁じます。Printed in Japan © Kokonoe Town.

二次元コードから  
九重町バサレページに  
ジャンプします。



KOKONOE FreePaper 2023.3 vol.17

九重町高校生サークル 梅木蓮くん撮影